

## No.24 健全な上下水道事業 (建設課)

### 令和元年度にめざした姿(目的)

有収率(注1)の向上による水道水の安定供給と施設維持管理の安定化を図るとともに、汚水処理施設の計画的な修繕による延命化を図ります。

(注1) 水道メーターが回り料金徴収の対象となった水量を水道本管へ送り込んだ水量で割った率のこと。低いと漏水等が多いため収益につながらない。全国平均は平成28年度で約93%

### 令和元年度にめざした成果

- ① 上水道の有収率 88.1% (前年度) 以上
  - ②-1 汚水処理の汚泥減容率(注2) 現状維持 西伯地区2処理場28%、会見浄化センター30%、公共下水処理場17%
  - ②-2 汚水処理水の水質指標BOD(注3) 現状維持 公共下水道1.4mg/ℓ、農業集落排水5.0mg/ℓ (基準値) 公共下水道15mg/ℓ以下、農業集落排水20mg/ℓ以下
- (注2) 下水処理場から発生する汚泥を微生物等の技術により発生量を抑えた率のこと。  
(注3) 水の汚れを微生物が分解する時に使う酸素の量のこと、この量が多いと汚れがひどい。

### 令和元年度にめざした活動(主な取組み)

- ① 上水道のアセットマネジメント(長寿命化計画)や経営戦略を策定し、計画に基づいた施設更新を実施します。
- ② 汚水処理のストックマネジメント計画(更新計画)の策定や事業計画の見直しを行い、修繕費用の平準化と軽減を図ります。

### 令和元年度の成果

- ① 有収率は、約88%程度の見込みで、ほぼ現状維持です。漏水調査を鴨部地区などで行い幹線管路の漏水修理を実施しました。アセットマネジメント(長寿命化計画)と経営戦略の策定が完了しました。
- ② 汚泥減容率も水質指標も、ほぼ現状維持の見込みです。ストックマネジメント計画(更新計画)は、一部の策定が完了しました。全部完了は、令和2年度の予定です。

### 令和元年度の問題

- ① 上水道の施設整備は、投資と効果の関係上、町のゾーニング計画との連携が必要となります。

## 令和2年度以降の方策

### (1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ② 汚泥処理のストックマネジメント計画(更新計画)の策定を全部完了させ、事業計画の見直しにつなげ、修繕費用の平準化と軽減を図ります。

### (2) 解決すべき問題への方策

- ① 上水道の施設整備は、投資と効果の関係上、町のゾーニング計画との連携が必要となっています。

### (3) 新たに取り組む方策

- ① アセットマネジメント(長寿命化計画)と経営戦略の策定完了により、管路を中心に老朽施設の更新工事を計画的に実施します。